



ユーザーマニュアル

ワンラムダ社

HLA Fusion 4.3 インストールマニュアル

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

目次

目次	1
1. はじめに	2
1.0 インストールが可能な環境	2
1.1 HLA Fusion4.3 主な変更点	2
2. インストール	3
3. 初期設定	7
3.0 Database Utility とは	7
3.1 新規データベースの作製	8
3.2 既存データベースの Upgrade 方法	9
3.3 ライセンス登録	13
3.4 血清型ファイル (必須)	16
3.5 NMDP コードのインポート (任意)	18
3.6 カタログファイル (必須)	19
3.7 日本人フィルタ	23
4. 困ったときは	26
4.1 問い合わせ先	26
4.2 FAQ	27

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

1. はじめに

1.0 インストールが可能な環境

HLA Fusion4.3 をインストールする際、過去の Fusion がインストール済みでも問題ありません。
過去の HLA Fusion に 4.3 が上書きされることはありません。
HLA Fusion4.2 をインストール後 4.3 へアップデートが必要です。

HLA Fusion 4.3 は以下のコンピューター環境に対応しております。インストール前にご確認ください。

対応 OS	<ul style="list-style-type: none">Microsoft® Windows 7 (32 bit or 64 bit)Microsoft® Windows 10 (32 bit or 64 bit)
ハードウェア環境	<ul style="list-style-type: none">CPU : 1GHz Pentium Processor 以上ハード空き容量 : 1GB 以上RAM : 512MB 以上VGA display : 1280×960 以上の解像度を推奨
インストールおよび解析に必要なプログラム	<ul style="list-style-type: none">以下のプログラムがインストールされていない場合は、HLA Fusion 4.3 インストール時に自動的にインストールされます。Microsoft .NET Framework 4.6.1Visual JSharpMicrosoft SQL 2008 R2 あるいは Microsoft® SQL Express 2014 (+Microsoft .NET Framework Version 3.5 SP1)

1.1 HLA Fusion4.3 主な変更点

- Windows10 に対応
- MatchMaker 追加

* 参考 *

- HLA Fusion4.3 で新しくデータベースを作成する

インストール (P3)



データベースの作製 (P8)



各種ファイルの更新 (P16)

初期設定から設定をお願いします。
解析に必要なファイルデータベース作成後にインポートしてください。

- Fusion2.0~4.2 で使用していたデータベースをそのまま使用

インストール (P3)



データベースのバックアップ・アップグレード (P9)

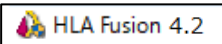


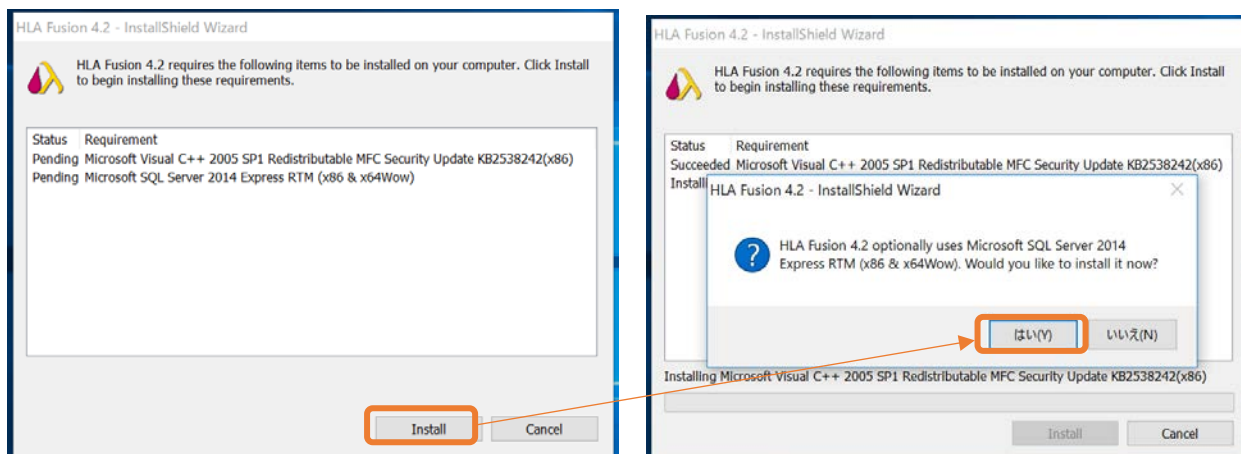
各種ファイルの更新 (P16)

今まで使っていた HLA Fusion の設定をそのまま反映させたい場合はこちらです。

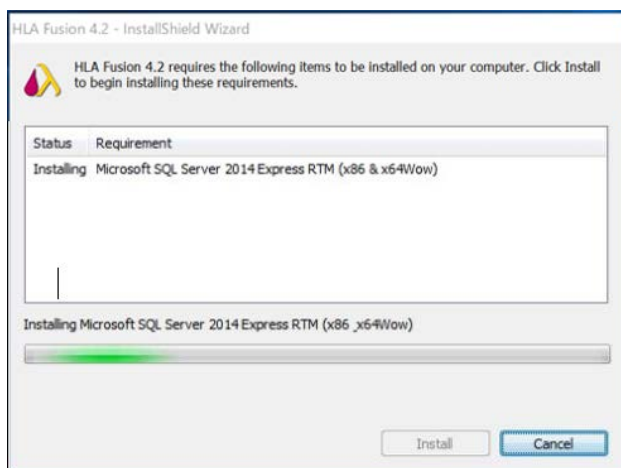
HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

2. インストール

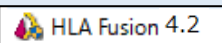
1. インストール CD を PC に入れ、HLA Fusion 4.2 のアイコン  クリックし、インストールを開始します。
2. インストールおよび解析に必要なプログラムがインストールされていない場合、必要なファイルを自動的に検出しインストールをします。Install→Yes とクリックして下さい。



3. インストールが始まりますので、完了するまでお待ちください。



*インストール環境によっては自動的に PC の再起動が生じる場合があります。

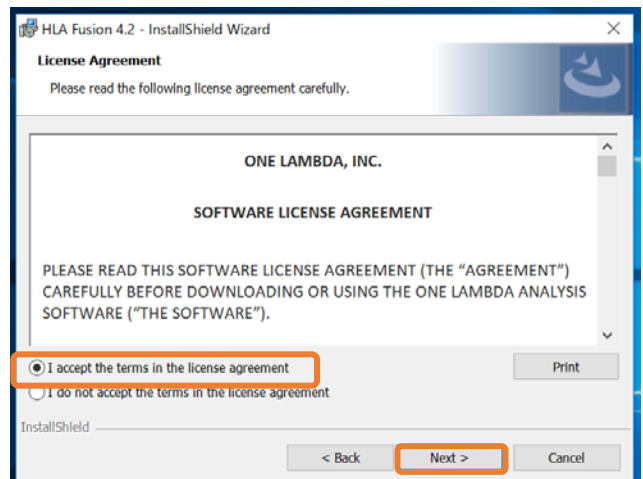
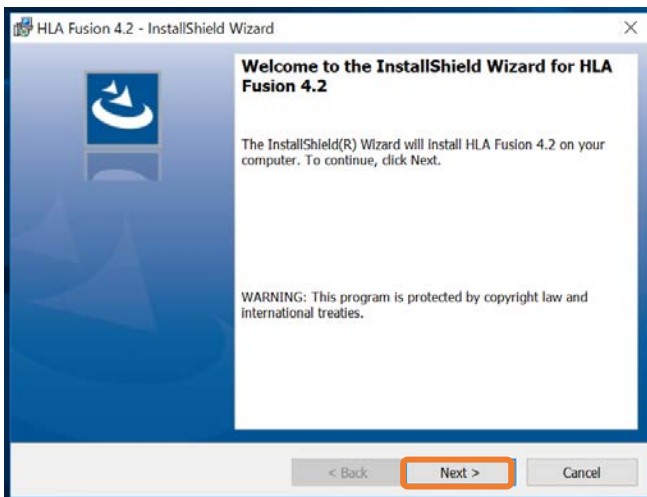
再起動後に Install Shield Wizard が消えていた場合は、再度  をクリックし、起動してください。

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

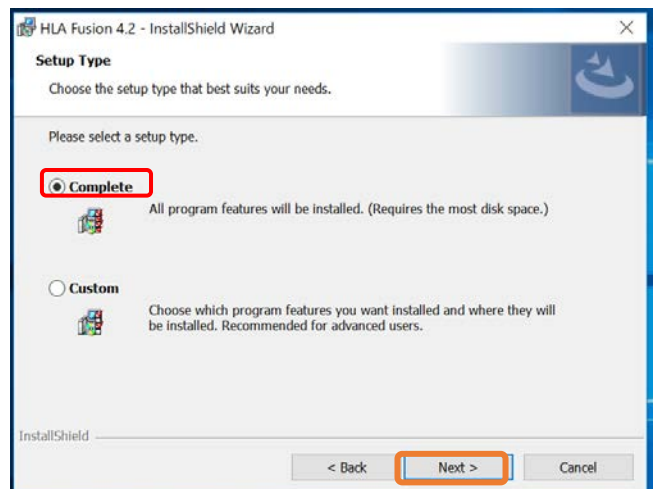
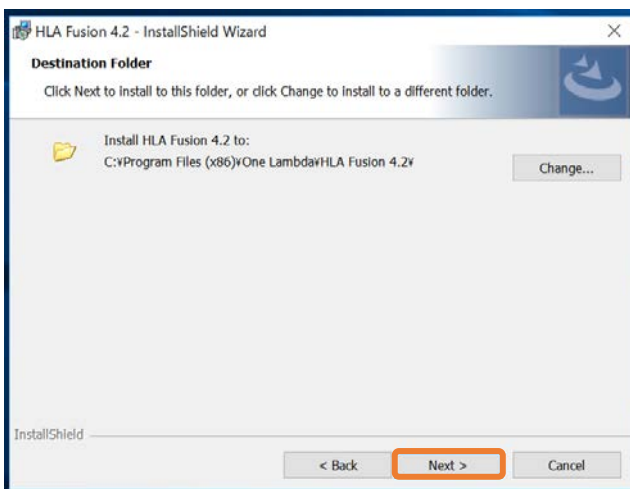
4. 続いて、HLA Fusion 本体のインストールが始まります。



Next→I accept…(利用規約に同意します)を選択し、Next を選択します。

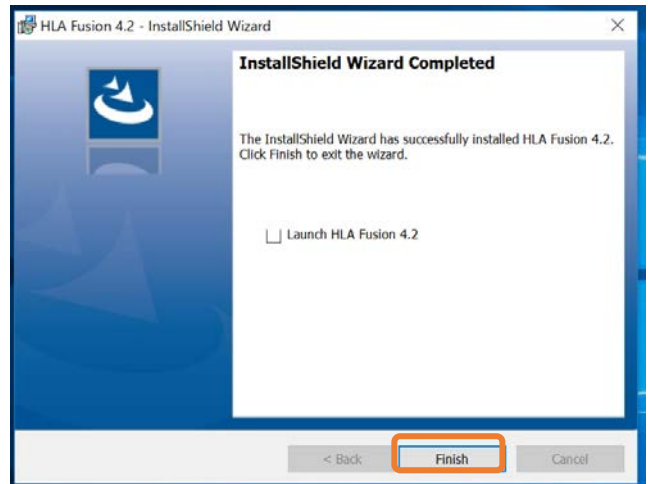
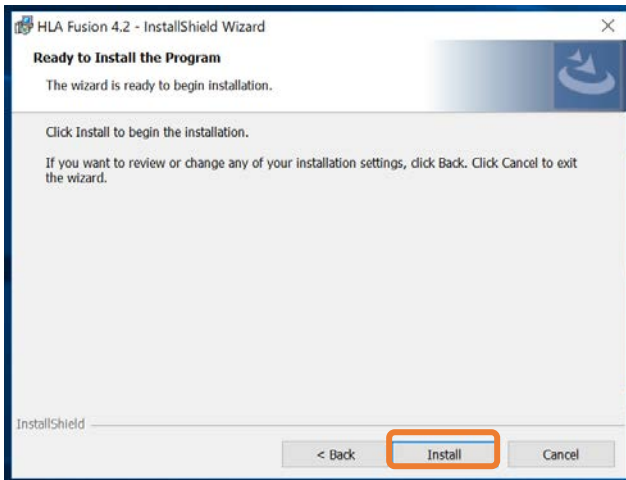



5. 保存先のフォルダは変更せず、そのまま Next をクリックします。次の Setup type も Complete のまま変更せず Next をクリックします。

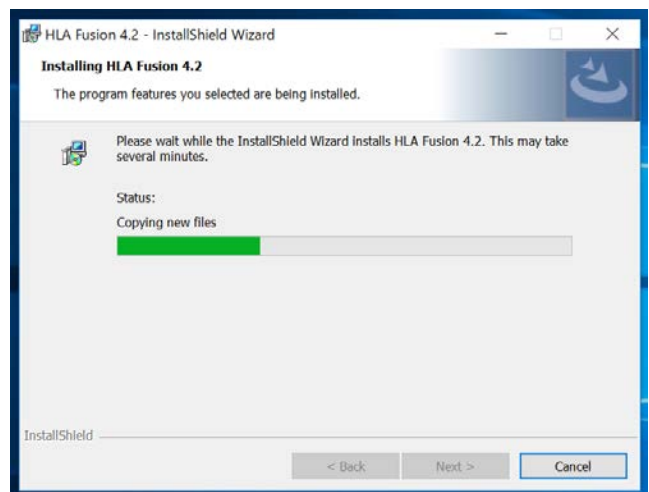
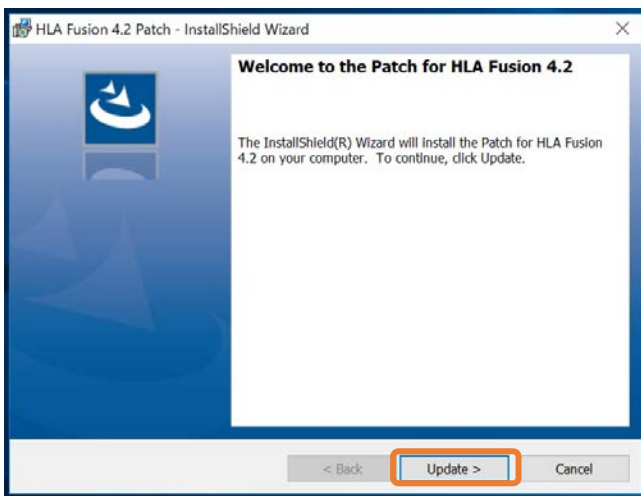


HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

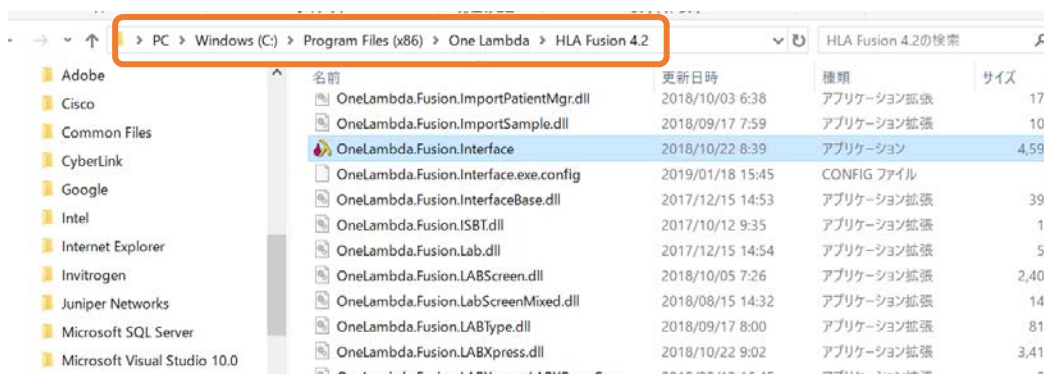
6. インストールの準備が整いましたので Install をクリックします。終了後、Finish をクリックします。



7. HLA Fusion4.3 へアップデートするために  をクリックします。
8. 下記画面が表示されましたら Update をクリックするとインストールが開始され、自動的に終了します。

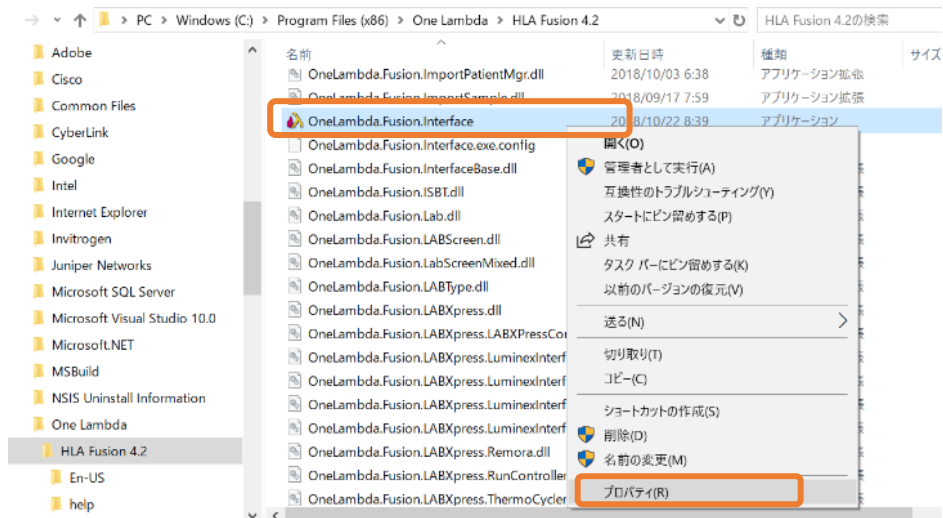


9. デスクトップのショートカットは 4.2 のままですので 4.3 に変更してください。
10. インストールが正常に終了したことを確認するために、下記フォルダを開きます。

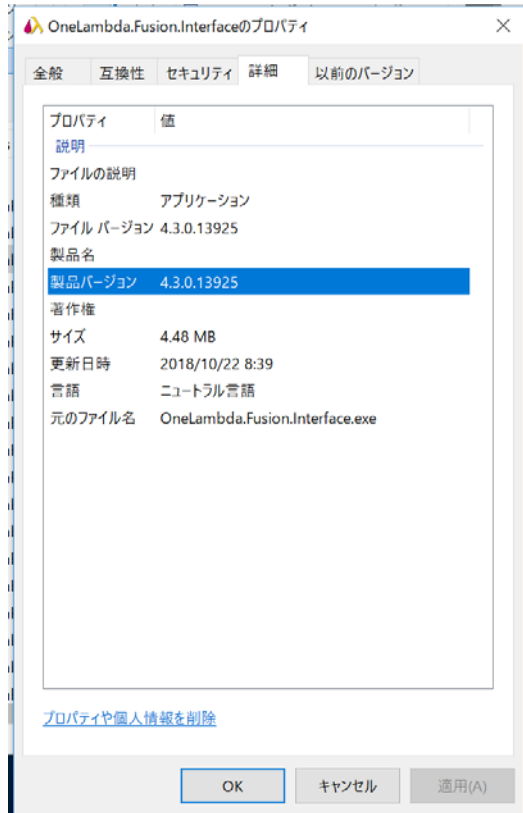


HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

11. OneLambda.Fusion.Interface.exe を右クリックし、プロパティをクリックします。



12. 製品バージョンが4.3と表示されておりましたら、インストールは正常に終了しています。



HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

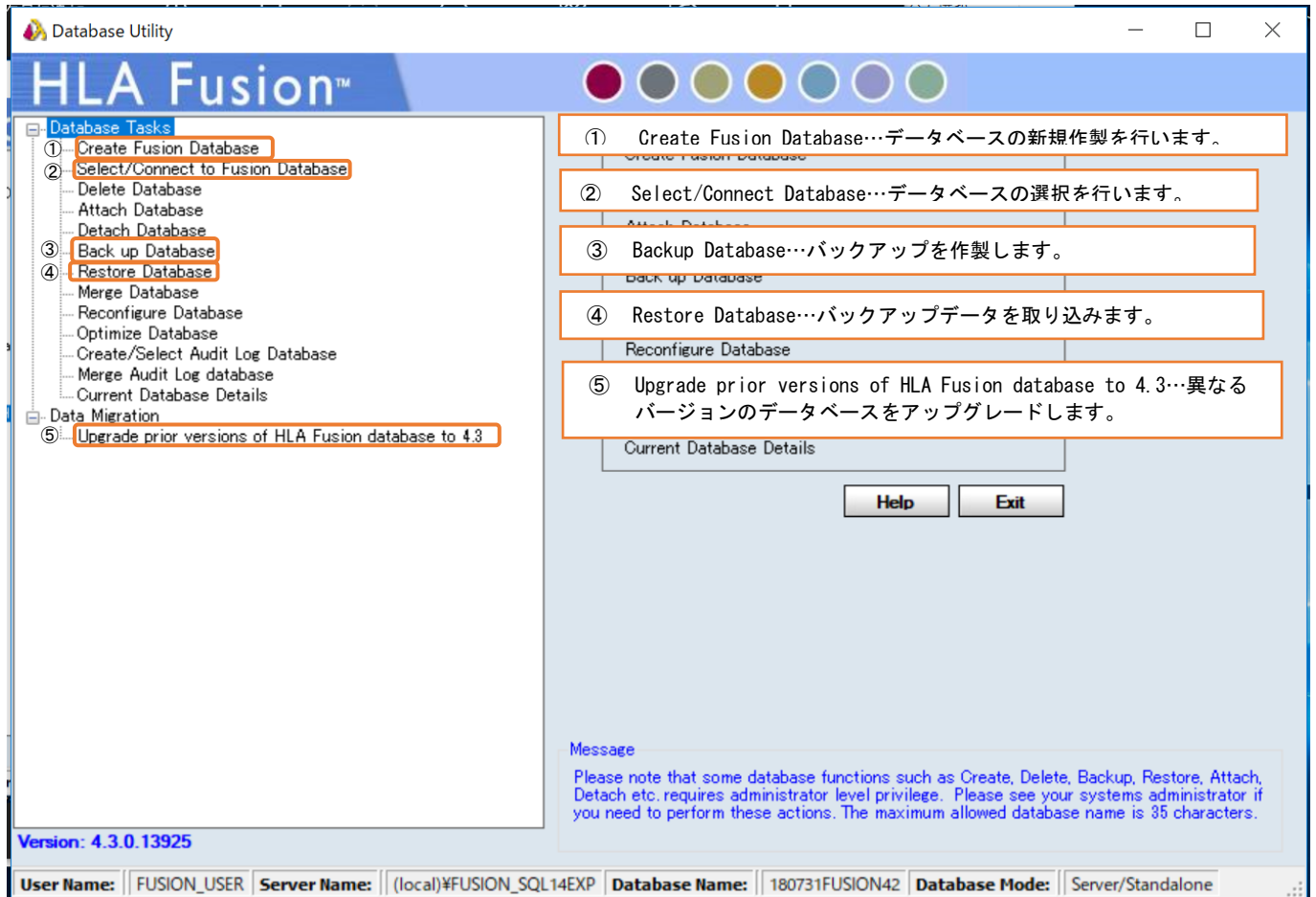
3. 初期設定

3.0 Database Utility とは



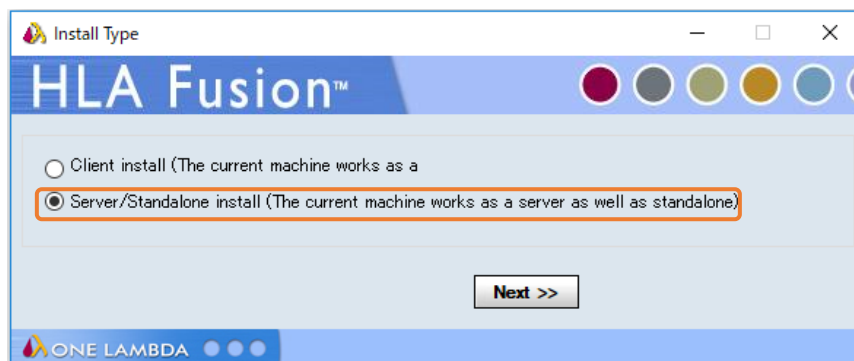
Database Utility では

Fusion のデータベース作製、変更、バックアップの作製等を行います。



* 注意 *

Database Utility を立ち上げた際に下記画面が表示された場合は、「Server/Standalone install」を選択してください。

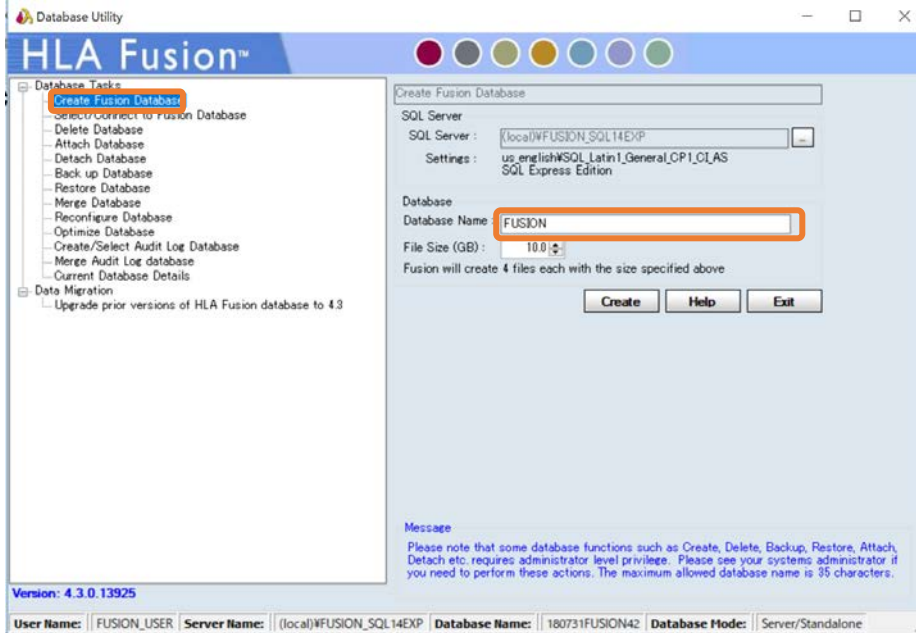


HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

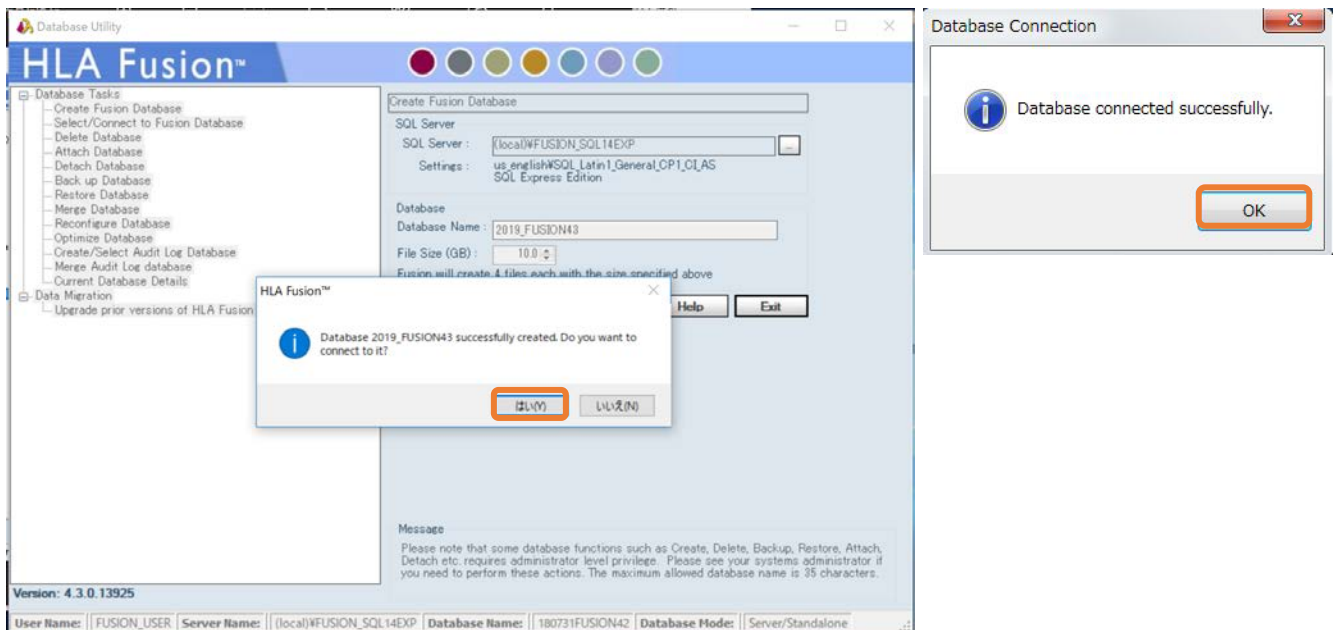
3.1 新規データベースの作製

3.1.1 データベースを新規で作製する場合

Create Fusion Database をクリックします。Database Name を入力し、File Size (0.5~10.0GB) を設定後、Create をクリックします。



データベースが作製されると下記メッセージが表示されますので、「はい(Yes)」を選択し、データベースの使用を開始します。



3.3 ライセンスの登録へ進んでください。

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

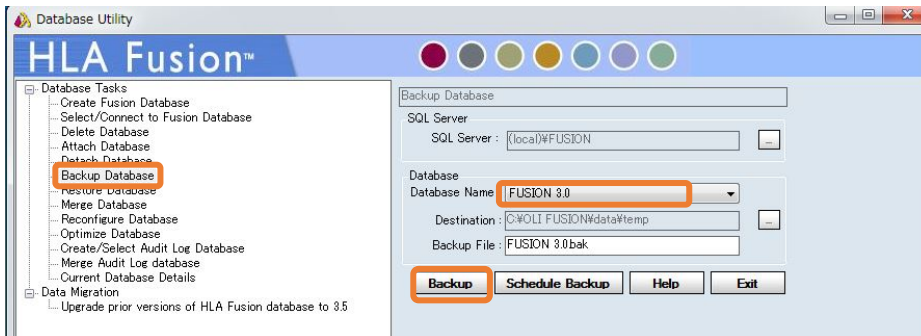
3.2 既存データベースの Upgrade 方法

HLA Fusion 3.5~4.1 のデータを 4.3 に移行する場合、下記手順を実施して下さい。

3.2.1 同じ PC 内でデータベースを移行する場合

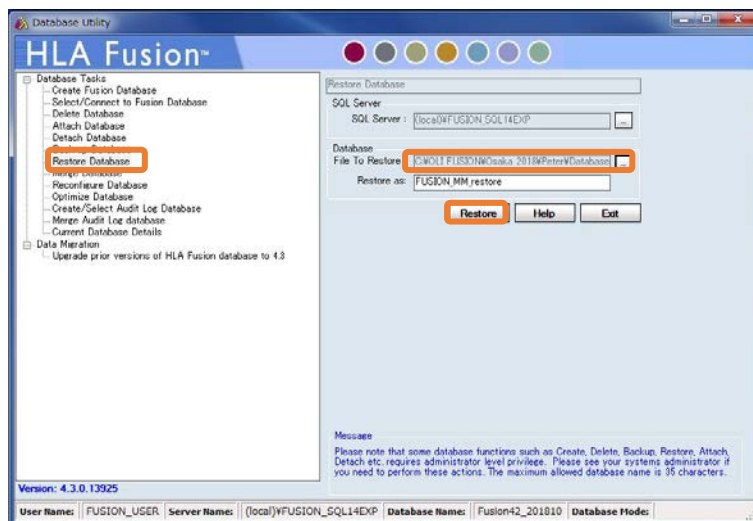
1. **旧バージョンの HLA Fusion Database Utility**を起動します。

画面左側から Back Up Database を選択し、画面右側で移行する Database を選択します。その後、Backup をクリックします。(データが多い場合は数分かかります。)



データベースが複数ある場合は、上記の操作を繰り返します。

2. **HLA Fusion 4.3 の HLA Fusion Database Utility**を開き、画面左側の Restore Database をクリックして下さい。その後、画面右側の「File To Restore」の「...」ボタンから1でバックアップを取った .bak ファイルを選択し、Restore をクリックします。データベース名を変更する場合は、Restore as の欄で入力可能です。ファイルが複数ある場合はこの操作を繰り返します。

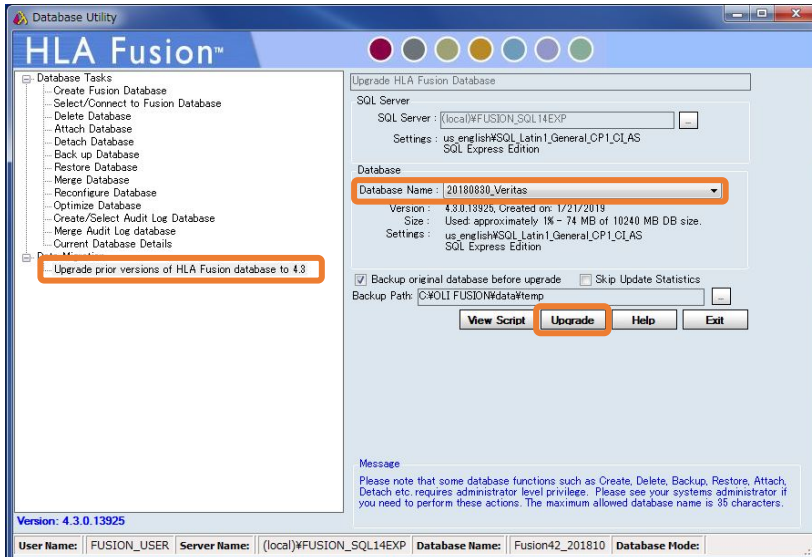


HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

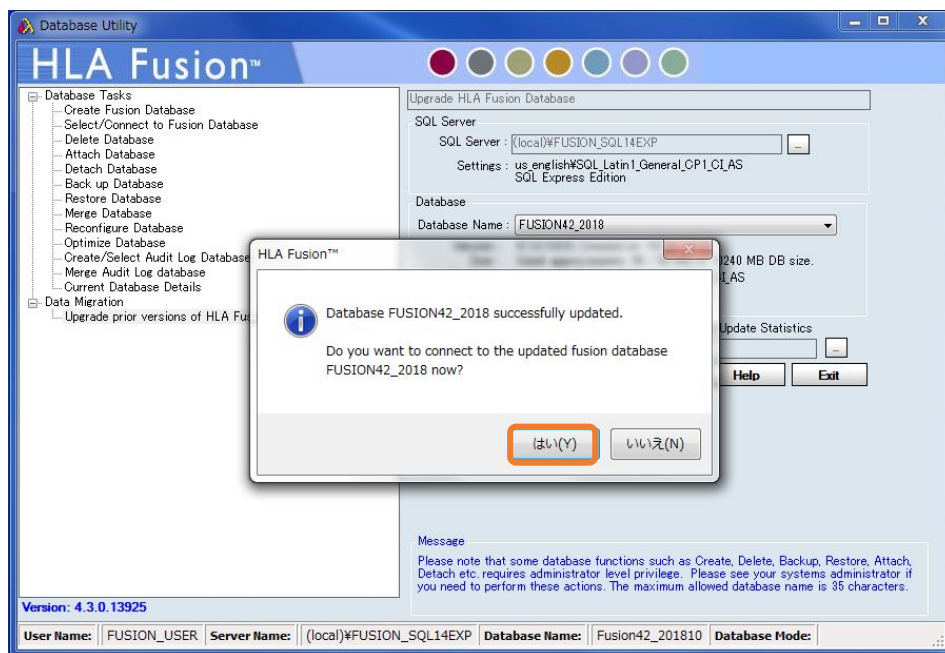
3. Database のバージョンを Upgrade します。

画面左側から、「Upgrade Prior version of HLA Fusion…」をクリックします。

画面右側より、先程 Restore したデータベースを選択し、Upgrade ボタンを押します。ファイルが複数ある場合はこの操作を繰り返します。



4. Upgrade が終わると、「Database に接続しますか？」と聞かれるので「はい」を選択します。以上でデータベースの移動が終了です。



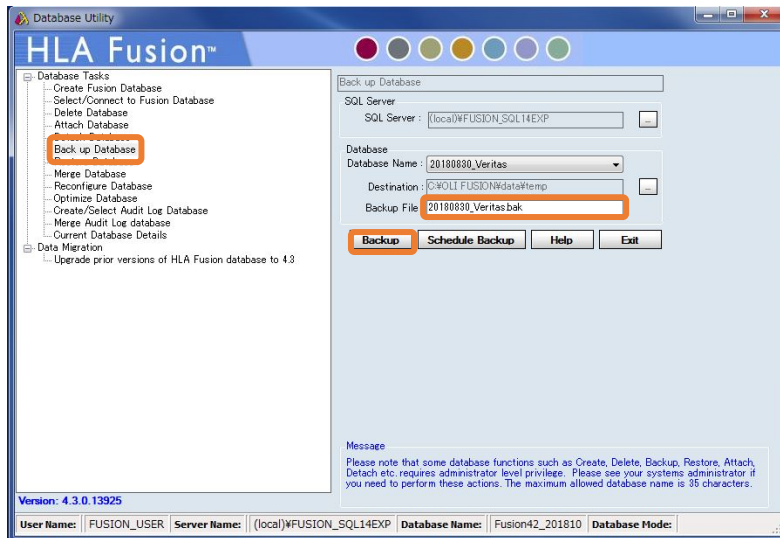
5. 3.3 ライセンスの登録へ進んでください。

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

3.2.2 異なる PC 間でデータベースを移行する場合

1. 旧バージョンの HLA Fusion Database Utilityを起動します。

画面左側から Back Up Database を選択し、画面右側で移行する Database を選択します。その後、Backup をクリックします。(データが多い場合は数分かかります。)



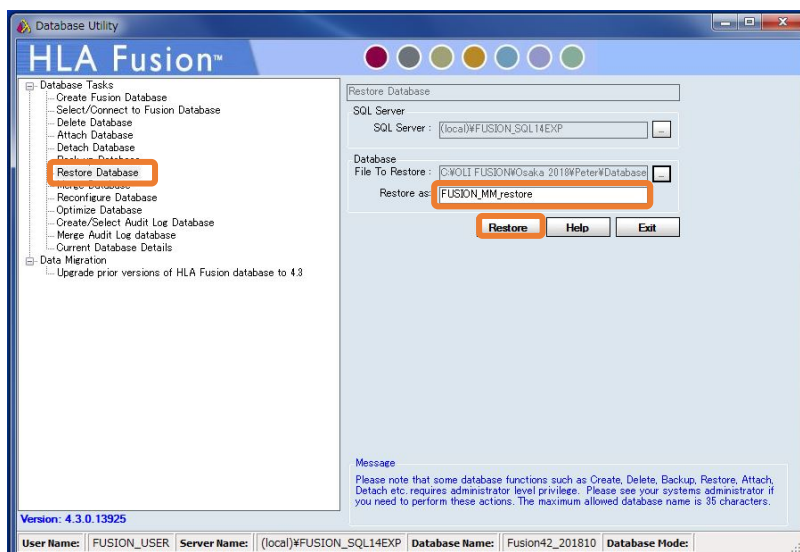
データベースが複数ある場合は、上記の操作を繰り返します。

2. 1 で作成した Back Up ファイルを USB 等にコピーします。Back Up データは〇〇〇〇.bak という拡張子のファイルで、下記のフォルダに入っています。

C:\OLI FUSION\data\temp

HLA Fusion4.3 をインストールした PC の **C:\OLI FUSION\data\temp** に .bak データを保存して下さい。

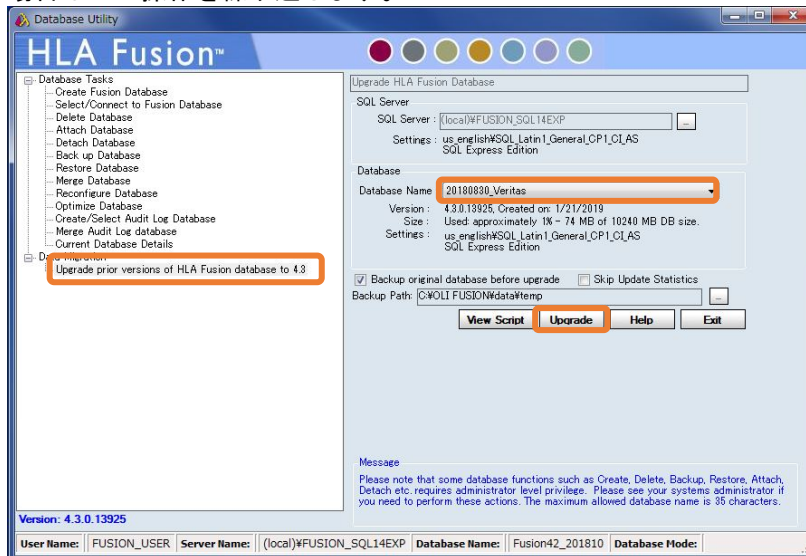
3. HLA Fusion 4.3 の HLA Fusion Database Utilityを開き、画面左側の Restore Database をクリックして下さい。その後、画面右側の「File To Restore」の ボタンから先程保存した .bak ファイルを選択し、Restore をクリックします。データベース名を変更する場合、Restore as の欄で入力可能です。ファイルが複数ある場合はこの操作を繰り返します。



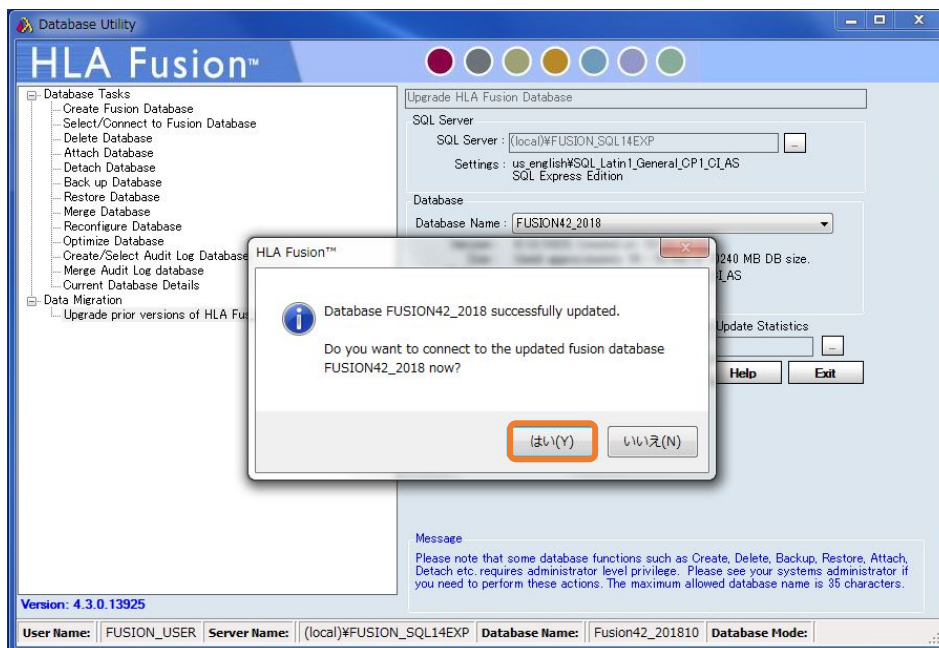
4. Database のバージョンを Upgrade します。

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

画面左側から「Upgrade Prior version of HLA Fusion…」をクリックします。
画面右側より、先程 Restore したデータベースを選択し、Upgrade ボタンを押します。ファイルが複数ある場合はこの操作を繰り返します。



5. Upgrade が終わると、「Database に接続しますか？」と聞かれるので、接続したい場合は、「はい」を選択します。以上でデータベースの移動が終了です。



6. 3.3 ライセンスの登録へ進んでください。

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

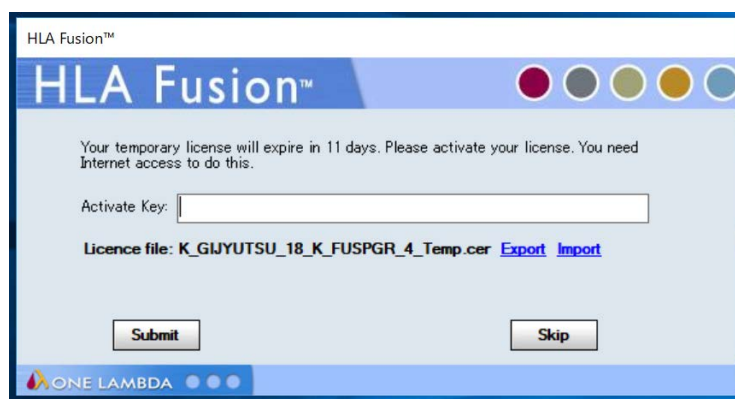
3.3 ライセンス登録

3.3.1 ライセンスについて

HLA Fusion4.3 を使用するためにはライセンスが必要になります。インストール時に下記の手順でライセンスの登録を行ってください。使用開始から 11 日間はライセンスを登録せずに使用できますが、できるだけ早めに登録を行ってください。

3.3.2 ライセンスの登録手順

1. 初回インストール後、11 日間は HLA Fusion 起動時にライセンス入力画面が表示されます。

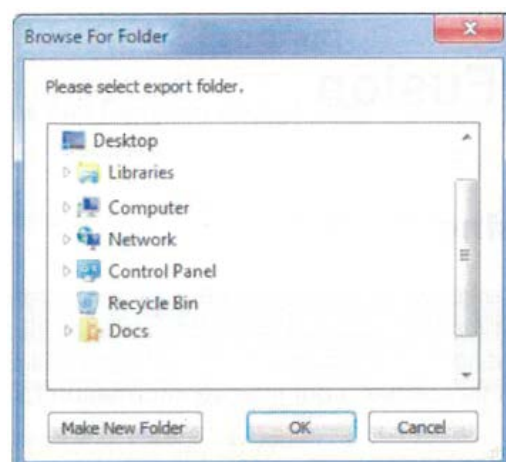
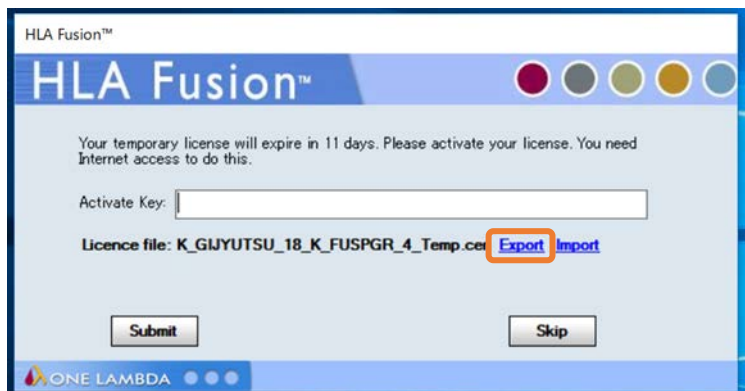


2. ライセンスを入力せずに skip をクリックし使用することができますが、できるだけ早くライセンスの登録を行ってください。
3. Activate Key 欄に、ライセンスを入力し Submit をクリックしてください。問題なくライセンスが登録された方は、ここで終了です。



HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

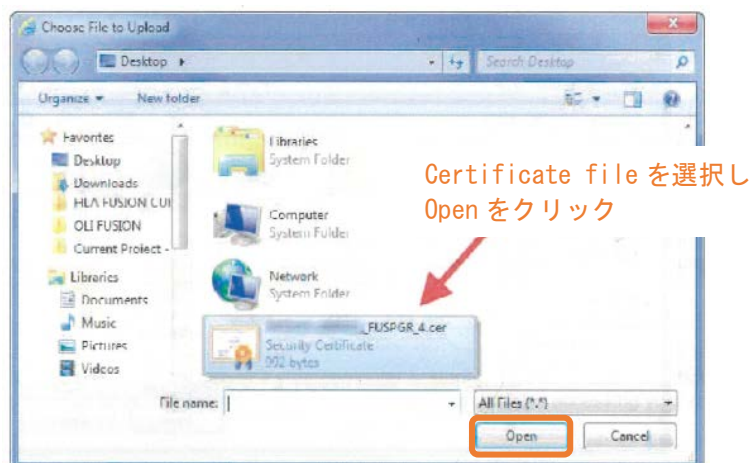
- ライセンスを入力しても登録ができない場合は、以下の手順で登録を進めてください。
- Export** をクリックし、Certificate file をエクスポートします。**Browse for folder** ボックスが表示されるので保存先を選択し、certificate file を保存してください。



- ファイルの保存完了画面が表示されます。
- インターネットに接続したPCより <https://forms.onelambda.com/software/activation> へアクセスします
- Activation Key** 欄にライセンスを入力し、**Choose File** をクリックします。

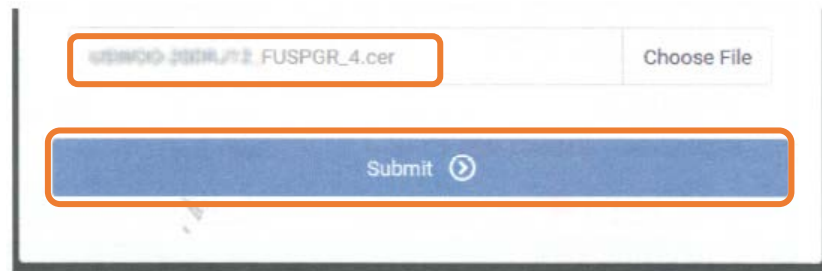


- 5で保存した certificate file を選択し **Open** をクリックします。

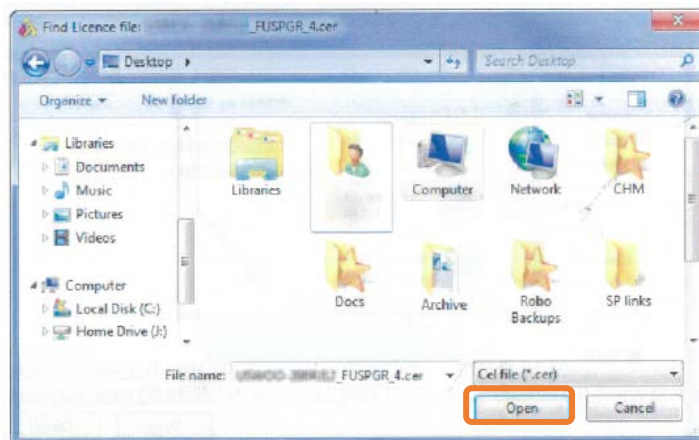


HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

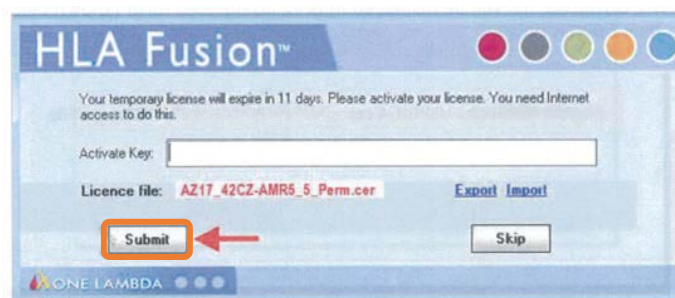
10. Certificate file が下記のように灰色で表示されたことを確認し、**Submit** をクリックします。



11. Download をクリックし、ライセンスの certificate をダウンロードします。
12. ダウンロードした certificate file を HLA Fusion で使用している PC へ移動します。
13. ライセンス入力画面の **Import** をクリックし、11 でダウンロードした certificate をインポートします。



14. License File の欄にインポートした certificate ファイル名が表示されます。**Submit** をクリックしてください。こちらで登録完了です。



HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

3.4 血清型ファイル（必須）

- ・ 血清型ファイル=Serology Equivalent=Nomenclature
- ・ 血清型ファイルとは解析に使うデータベースの大元で、様々なアレル情報が含まれております。
- ・ One Lambda は年 2 回更新しております。
- ・ 必ず**血清型ファイル** → **NMDP コード** → **カタログファイル**の順にインポートして下さい。

1. 血清型ファイルは One Lambda の web (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) から入手できます。
Nomenclature で検索→Nomenclature Update→Serological Equivalent Nomenclature○○

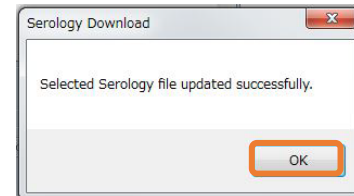
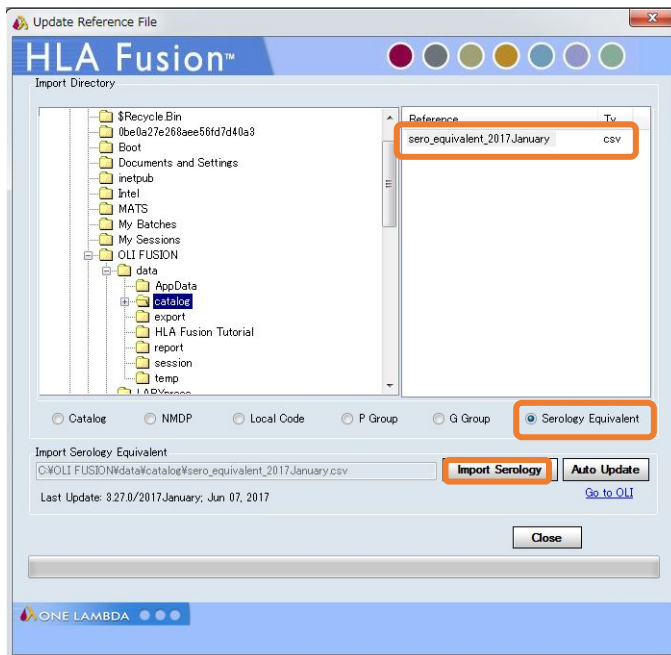
The screenshot shows the One Lambda website interface. The search bar at the top right contains the word "Nomenclature". The left sidebar has "Documents (7)" selected, and under "Document Type", "Nomenclature Updates (7)" is highlighted. The main content area displays search results for "uTYPE HLA Sequence Analysis Software Allele Library Update- January 2017" and "Serological Equivalent Nomenclature for KIR - January 2017 (.csv)". The latter file is highlighted with a red box. A red arrow points from the search bar to the "Nomenclature Updates (7)" category, and another red arrow points from that category to the highlighted "Serological Equivalent Nomenclature - January 2017 (.csv)" file.

2. ログイン後、Utilities→Update Reference→Update Reference File を開きます。

The screenshot shows the HLA Fusion software interface. The "Utilities" menu is open, and "Update Reference" is selected. The "Update Reference File" sub-menu is also open, showing options like "Catalog Information/Management", "Demographic/Alele Frequency", "CREG Information Management", and "Epitope Information Management". Red boxes highlight the "Utilities" menu, the "Update Reference" option, and the "Update Reference File" option.

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

- Update Reference File ウィンドウで Serology Equivalent のボタンをクリックし、“sero_equivalent (HLAFusion2)_OO.csv” を選択し、import serology をクリックして下さい。



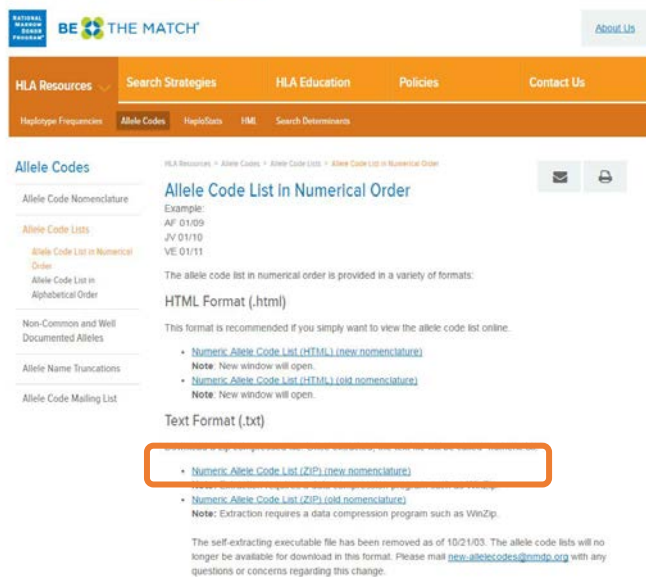
HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

3.5 NMDP コードのインポート（任意）

NMDP コードとはアメリカ骨髄バンクの定義に基づいた HLA アレルコードです。約週 1 ペースで更新されております。タイピング結果で NMDP コードを使用したい場合、下記からダウンロードしてお使いください。

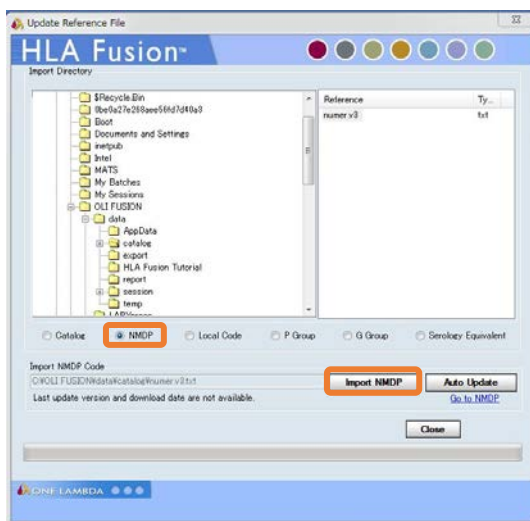
1. numer.txt ファイルの最新版を下記 URL から入手してください。

(http://bioinformatics.nmdp.org/HLA/Allele_Codes/Allele_Code_Lists/Allele_Code_List_in_Numerical_Order.aspx)



* ページ中央辺りの、「Numeric Allele Code List (ZIP) (new nomenclature)」を選択して下さい。

2. Utilities→Update Reference→Update Reference File を開きます。NMDP のボタンを選択し、NMDP コードが入ったファイル“numericOO.txt”というファイルをインポートします。NMDP コードのインポートには、多少時間がかかります。



3. インポートに成功すると、The NMDP code was updated successfully. 表示されます。

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

3.6 カタログファイル（必須）

カタログファイルは次の場合に更新が必要となります。

- ・新しい製品の購入時
- ・製品のロット番号が変更された時
- ・ネガティブコントロール血清のロット番号が変更された時（LABScreen のみ）

血清型ファイル→カタログファイルの順でインポートしてください。

1. One Lambda 社 web (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) へアクセスします。

例) LABScreen Single Antigen Class I のカタログファイルを探す場合。

↑

LABScreenを選択すると、右側に各試薬が表示されます。

LABScreen Single Antigenのファイルをダウンロードする場合…

クリック →

Products Knowledge & Support About Us

LABScreen® Ancillary Reagents
Catalog #: Multiple catalog numbers exist
Ancillary products for use with LABScreen such as control beads and serum, Adsorb Out, and other reagents.

LABScreen® Multi
Catalog #: Multiple catalog numbers exist
LABScreen Multi, a multiplex assay, is a screening tool for antibodies against both the HLA and Human Neutrophil Antigens (HNA).

LABScreen® PRA
Catalog #: Multiple catalog numbers exist
LABScreen PRA is a screening tool that helps to determine percent PRA and identify antibody specificities using a panel of color-coded microbeads coated with HLA antigens...

LABScreen® Single Antigen
Catalog #: Multiple catalog numbers exist
LABScreen Single Antigen is designed to screen HLA class I and class II antibodies that are reactive to one or more dominant epitopes providing clinicians a comprehensive...

2. 製品ページで Product Documentation を選択します

LABScreen® Single Antigen

Donor Specific Antibody Monitoring – A New Standard of Care
LABScreen Single Antigen assays leverage Luminex® bead-based multiplexing to Donor Specific Antibodies (DSA) in high-PRA patients for both pre- and post-transplant single antigen-bead based assay allows for a precise determination of antibody presence or HNA. The proven reliability of LABScreen's consistency, high sensitivity and repeat screening has gained rapid momentum in the transplant community.

Sales Contact
1-800-822-8824, Press Options: 4, 1 sales@onelambda.com

Service Contact
+1 800 822 8824 techsupport@onelambda.com

Contact Us About This Product

Product Description

Overview **Product Documentation**

Refine By:

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

3. 下記①～③の順で製品情報を入力し、必要なファイルを選択します。



welcome, guest | sign in or register

United States | Contact Us

Site Search

Products Knowledge & Support About Us

Product Description

LS1A04 Lot010 Software Analysis Files(カタログファイル)を選んだ場合

is optimized for IE 10 and above. Downloads are limited to 50 documents at a time.

Download

▼ LABScreen Single Antigen (4)

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	09/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, Lot 010 - CQ11NC4- HLA F Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	09/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, Lot 010 - CQ11NC5- HLA F Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, NC16 - Lot 010 - HLA F Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, NC15 - Lot 010 - HLA F Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>

目的のファイルをダウンロードします。
ダウンロード方法は2つ、どちらでもかまいません。

1. 画面左の矢印ボタンをクリック
2. 画面右側にチェックを入れDownloadをクリック

LABType CWD/XR Software Analysis Files(カタログファイル)を選んだ場合

▼ LABType XR and CWD (16)

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	05/12/2017	LABType XR Class II DRB1 Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-RUO	Software Analysis Files	RSSOX2B1R, RSOX2B1TR	004	<input type="checkbox"/>
	05/12/2017	LABType CWD Class I A Locus Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-RUO	Software Analysis Files	RSSOW1AR	004	<input type="checkbox"/>
	05/12/2017	LABType XR Class I B Locus Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-RUO	Software Analysis Files	RSSOX1BR	004	<input type="checkbox"/>
	05/12/2017	LABType CWD Class I A Locus Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-IVD	Software Analysis Files	RSSOW1A	004	<input type="checkbox"/>
	05/12/2017	LABType XR Class II DRB1 Locus Typing Test, Lot 004-HLAF Catalog File-IVD	Software Analysis Files	RSSOX2B1, RSOX2B1T	004	<input type="checkbox"/>

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

(* 参考 LABScan 用テンプレートファイル)

LS1A04 Lot010 Luminex Template(テンプレートファイル)を選んだ場合

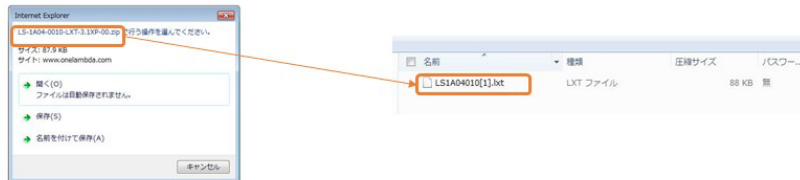
Download

LABScreen Single Antigen (4)

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test - Lot 010 - Luminex 3D Template v4.2 ①	Luminex Templates	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test - Lot 010 - Luminex 200 Template v4.2 ②	Luminex Templates	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>
	08/30/2016	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test - Lot 010 - Luminex Template v3.1 ③	Luminex Templates	LS1A04	010	<input type="checkbox"/>

使用環境に応じて目的のファイルをダウンロードします。
 それぞれファイル形式が違うので、正しいファイルを選んでください。
 LABScan3DシステムでxPONENT4.2を使用・・・①
 LABScanシステム(Luminex200)でxPONENT4.2を使用・・・②
 LABScanシステム(Luminex200)でxPONENT3.1を使用・・・③

zip形式でダウンロードされるので、中にあるファイルを解凍してお使いください。



LABType CWD A Locus / LABType SSO A Locus の場合

LABType XR and CWD (1)

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	12/21/2016	LABType CWD Class I A Locus Typing Test, Lot 004 - ①	Luminex Templates	RSSOW1A ,RSOW1AT	004	<input type="checkbox"/>

LABType SSO (3)

Download	Publish Date	Title	Type	Catalog #	Lot #	Select
	05/15/2015	LABType SSO Class I A Locus Typing Test, Lot 015- Luminex Template-xPONENT v3.1 ②	Luminex Templates	RSSO1A ,RSO1AT	015	<input type="checkbox"/>
	05/15/2015	LABType SSO Class I A Locus Typing Test, Lot 015- Luminex Template-xPONENT v4.2 ①	Luminex Templates	RSSO1A ,RSO1AT	015	<input type="checkbox"/>

LABType も LABScreen と同様にファイルが表示されます。

LABScan3D システムで xPONENT4.3 を使用・・・①

LABScan システム(Luminex200)で xPONENT4.3 を使用・・・②

LABScan システム(Luminex200)で xPONENT3.1 を使用・・・②

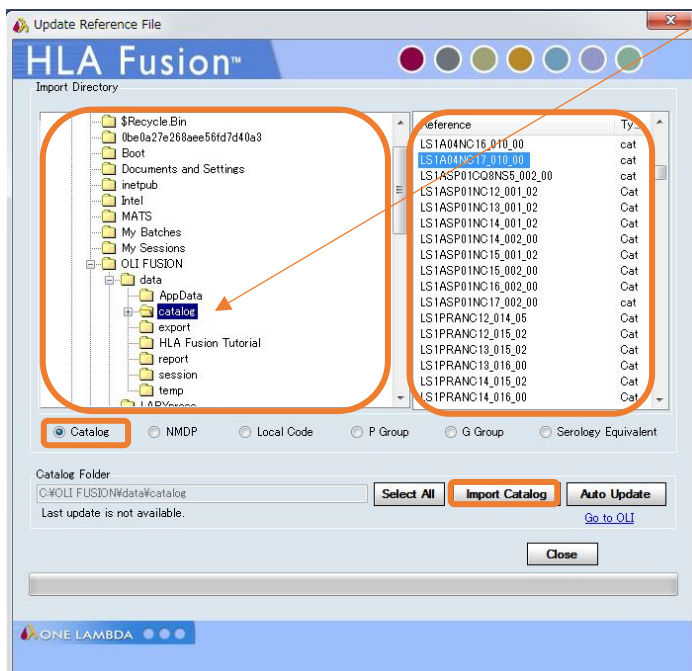
5. 必要なファイルをダウンロードし保存します。保存場所に指定はありませんが、HLA Fusionは以下のフォルダを参照しているので、下記に保存すると HLA Fusion からのアクセスがスムーズです。



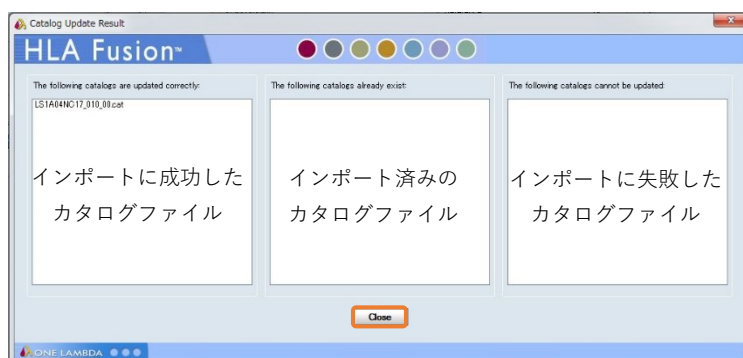
C ドライブ>OLI Fusion>data>catalog ファイル

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

6. ログイン後、Utilities→Update Reference→Update Reference File を開き、Catalog のボタンを選択し、左側のカラムからインポートしたいカタログファイルがあるフォルダを選択します。



7. 右側のカラムに出たすべてのファイルをインポートするときは Select All→Import Catalog を、特定のファイルをインポートするときは右側のカラムからファイルを選択し Import Catalog をクリックします。
8. インポートが終了後、下図のウィンドウが現れます。結果を確認し Close して下さい。



HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

3.7 日本人フィルタ

日本人アレルフィルタ (ver XX _ 201X Japanese_allelefilter.csv) を年 2 回弊社から配布しております。

日本組織適合性学会より発表されております最新の HLA 推定アレル一覧表を元に作成しており、HLA Fusion に適用することでタイピング結果が下記の通りに表示されます。

- G1 : 対立遺伝子の両方が最新の HLA 推定アレル一覧表に含まれる
- G2 : 対立遺伝子の片方が最新の HLA 推定アレル一覧表に含まれる
- G3 : 対立遺伝子の両方とも最新の HLA 推定アレル一覧表に含まれない

最新の HLA 推定アレル一覧表では 4 桁または 6 桁までの記載ですが、血清型ファイルでは 6 桁または 8 桁までのアレル情報が記載されております。

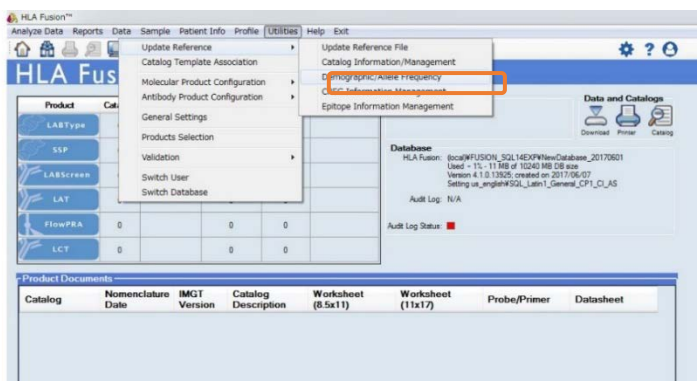
日本人頻出アレルのうち血清型ファイルで 6 桁または 8 桁目が記載されている場合、本フィルタでは原則として 6 桁または 8 桁目が 01 (01 が不在の場合は最初のアレル) のみを採用しております。

例) A*24 : 02 : 01 のケース

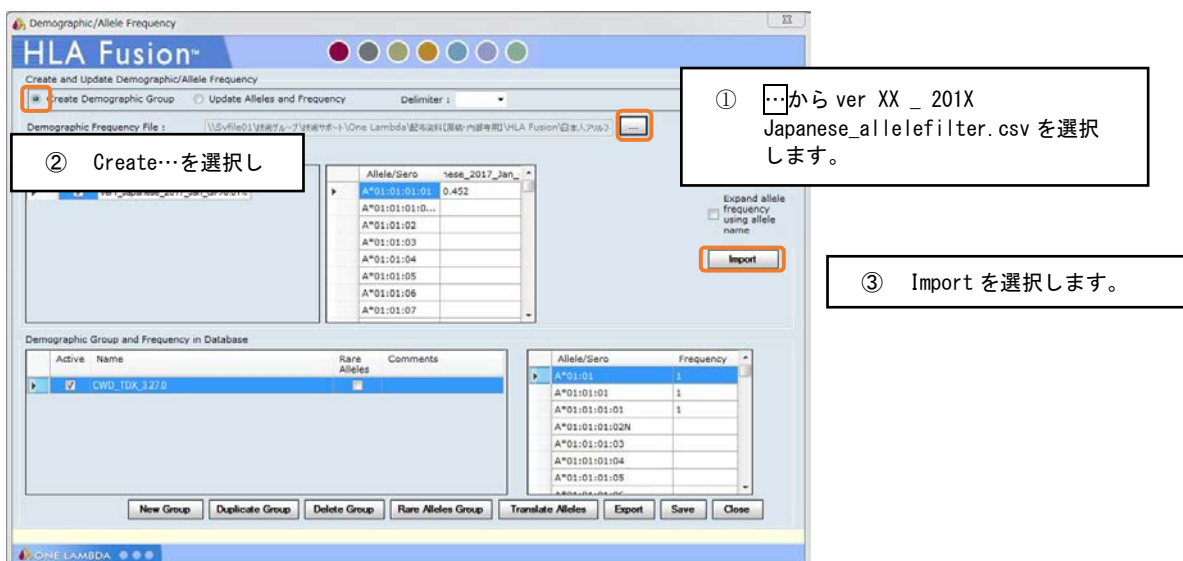
上記統計資料では 24 : 02 : 01 の 6 桁の頻度が公開されておりますが、血清型ファイルに 24 : 02 : 01 : 01 まで記載されている場合は、アレルフィルタでは 24 : 02 : 01 : 01 を日本人頻出アレルとして採用しております。(A*24:02:01:02L、A*24:02:01:03 など是不採用です)

例外として、日本組織適合性学会等での公表や研究発表された 6 桁、8 桁の日本人頻度情報がある場合はその情報を採用します。

1. ログイン後、Utilities→Update Reference→Demographic/Alele frequency を開きます。

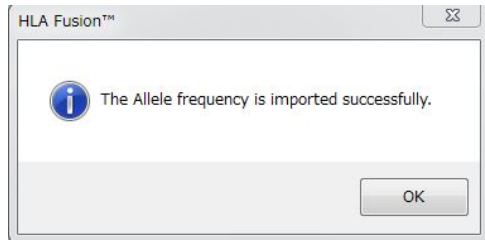


2. 下図の順に操作します。

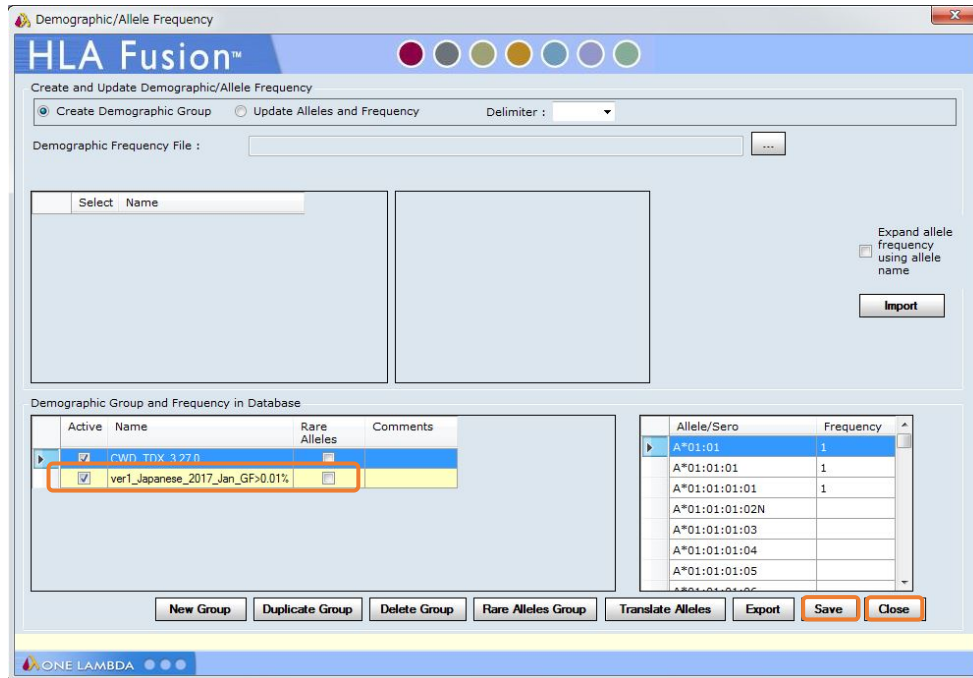
The screenshot shows the 'Demographic/Alele Frequency' dialog box. Callout 1 points to the file selection area where 'ver XX _ 201X Japanese_allelefilter.csv' is selected. Callout 2 points to the 'Create...' button. Callout 3 points to the 'Import' button. The dialog box contains a table of 'Allele/Sero' and 'Frequency' data, and a section for 'Demographic Group and Frequency in Database' with a table showing 'Active', 'Name', 'Rare Alleles', and 'Comments'.

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

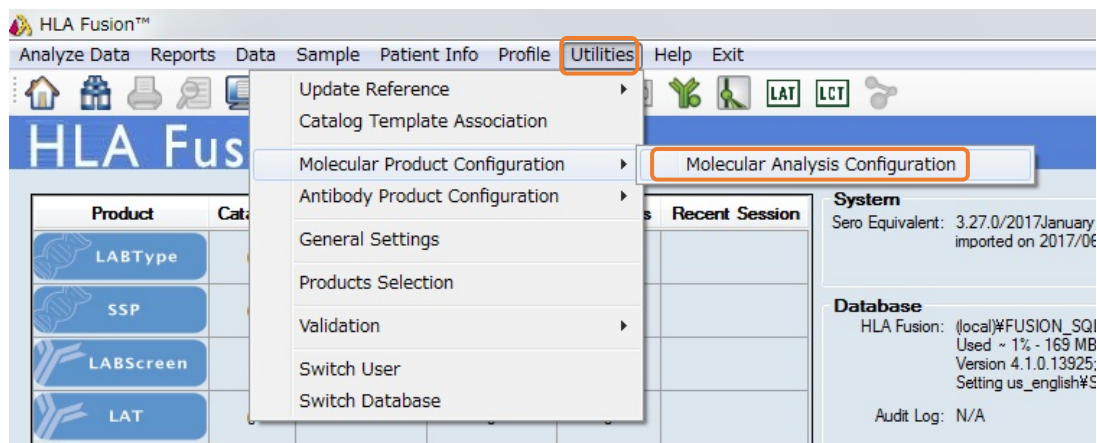
3. Import が成功すると下記メッセージが表示されます。



取り込んだフィルタにチェックが入っている確認し、Save して Close してください。



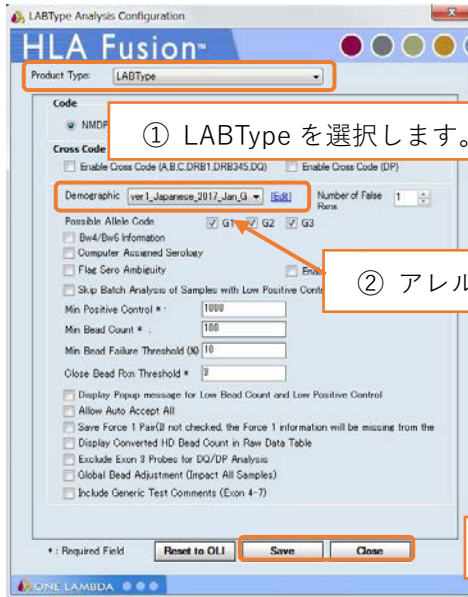
4. Utilities→Molecular Product Configuration→Molecular Analysis Configuration を開きます。



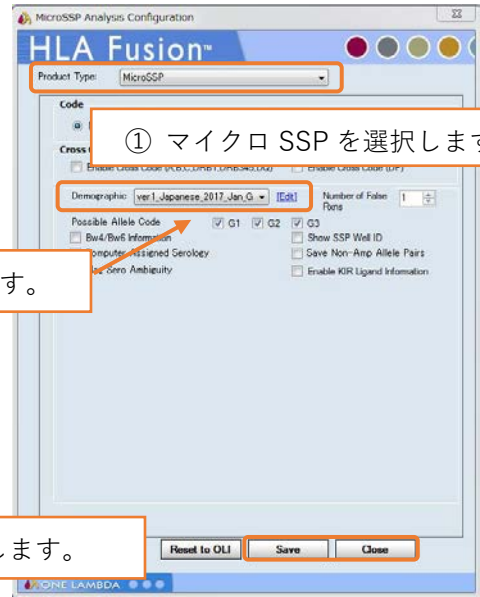
HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

5. 下図の様に設定します。

(LABType の場合)



(マイクロ SSP の場合)



4. 困ったときは

4.1 問い合わせ先

株式会社ベリタス
バイオサイエンス本部技術グループ
TEL : 03-5776-0040
Mail : techservice@veritastk.co.jp

- * お問い合わせの際、
- ・ OS のバージョン
 - ・ HLA Fusion のバージョン
 - ・ 使用試薬、Lot
 - ・ エラー等が出ている場合はスクリーンショットなどの情報を記載頂けるとスムーズです。

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

4.2 FAQ

〈インストール / データベース〉

- インストールが成功しません
インストール環境は対応していますか？
Windows XP では HLA Fusion のデータベースを構築できないためインストールができません。
- インストールに時間がかかります。
お手数おかけします、PC のスペックや環境により時間がかかってしまうケースがあるようです。
HLA Fusion 本体のほか、NMDP コードのインポートも時間がかかります。
- データベースの Upgrade ができません。
データベースのバージョンは HLA Fusion 2.0 以上ですか？2.0 より古いバージョンのデータは HLA Fusion4.3 で Upgrade できません。HLA Fusion2.0~4.1 を使ってデータベースを HLA Fusion 2.0 以上にしてから改めて Upgrade してください。

〈各種ファイル〉

- HLA Fusion に必要なファイルを教えてください。

名称	ファイルの種類	用途
カタログファイル	.cat	HLA Fusion の解析に用います。解析結果を表示するためのアレル情報、ビーズ情報、QC 結果が記載されています。
血清型ファイル =Nomenclature =Serological Equivalent)	.csv	HLA Fusion の解析で使うアレル情報です。 IMGT データベースの情報を元に One Lambda 社で作製しております。

- カタログファイルはどこでダウンロードできますか？


One Lambda 社の web サイト (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) をご参照ください。
ダウンロード後のインポート手順は P19 「3.6 カタログファイル」をご参照ください。

- カタログファイルの見方が分かりません。

(例) web 表記

02/28/2017	LABScreen Single Antigen HLA Class I Antibody Detection Test, NC17 - Lot 010 - HLA Catalog File	Software Analysis Files	LS1A04	010
------------	---	-------------------------	--------	-----

ダウンロードしたファイル

 LS1A04NC17_010_00

(製品名) + (ネガティブコントロール血清の Lot) + (製品 Lot) + (カタログファイルのバージョン)
LS1A04 NC017 010 00

- カタログファイルの更新頻度を教えてください。

具体的な頻度をお示しするのは難しいのですが、原則としてメーカーでは Lot 変更時、血清型ファイル変更時にアップデートされます。それ以外でも適宜改定される場合がございます。

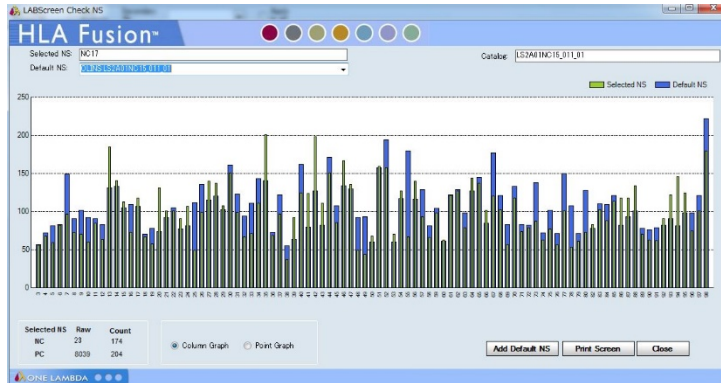
- 古いカタログファイル/NC 血清が異なるカタログファイルを使うと問題がありますか？

製品 Lot 変更によりビーズ情報が変更になるケースがございます。カタログファイルが古いままだとその変更が反映されず、正しい解析結果が出ない可能性がございます。

ネガティブコントロール血清の Lot が異なると、HLA Fusion 取り込み時の Check コントロールで異常値が出る、グラフが一致しないといった可能性がございます。

HLA Fusion4.3 インストールマニュアル

(例) NC017 を NC015 で Check コントロールを実施



6. 血清型ファイルはどこでダウンロードできますか？

One Lambda 社の web サイト (<http://www.onelambda.com/en/home.html>) をご参照ください。
ダウンロード後のインポート手順は p16 「3.4 血清型ファイル」をご参照ください。

7. 血清型ファイルの更新頻度を教えてください。

年 2 回更新がございます。

IMGT データベース更新に伴い One Lambda 社より約半年後に公開されます。

IMGT データベース更新 1 月及び 7 月

血清型ファイルの公開 5 月及び 11 月ごろ

となります。

8. 古い血清型ファイルを使うと問題がありますか？

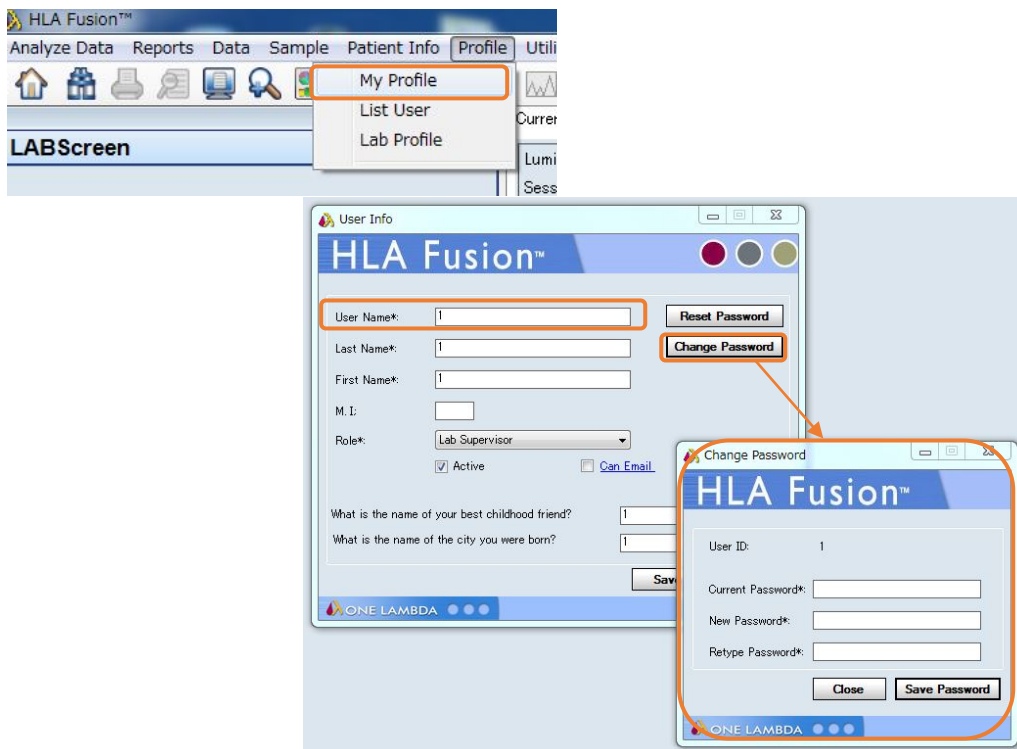
アレル情報の追加、修正が反映されず、正しい解析結果が出ない可能性があります。

〈その他〉

1. ログインパスワード、ユーザー名を変更したいです。

Profile>My Profile を選択し、User Info で変更可能です。

設定変更後は Save ボタンをクリックしてください。



VERITAS USER MANUAL

日本総代理店

株式会社

ベリタス

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目10-14
住友東新橋ビル3号館5階
TEL.03-5776-0078(代) FAX.03-5776-0076
E-mail: veritas@veritastk.co.jp
<http://www.veritastk.co.jp/>